

10月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成28年9月30日(金)
- 2 開催場所 新館8階 教育委員室
- 3 出席した委員 吉田委員長、森委員、坂元委員、廣岡委員、田淵教育長
- 4 出席した職員 諏訪教育総務部長、日浦教育指導部長、
平田教育総務部次長、谷池教育指導部次長、
小西教育総務部参事、大西教育指導部参事、
吉田教育総務課長、竹中学務課長、
野村社会教育・スポーツ振興課長、石川学校教育課長、
長瀬青少年育成課長、中田教育研究所長、
梶浦文化財調査研究センター所長、
山野教育総務課副課長
- 5 傍聴者 1人
- 6 議事の要旨
 - 開 会 午後3時00分
 - 会議録署名委員指名のこと
吉田委員長、廣岡委員に決定
 - 9月定例教育委員会会議録報告承認のこと
(事務局より会議録朗読報告)
承 認
 - 会議公開の可否決定のこと
報告事項1「市内中学生にかかる事案について」及び協議事項1「教育委員会委員長
長の選挙及び同職務代行者の指定について」は非公開とし、他は公開することに決定

(報告事項)

- 1 市内中学生にかかる事案について
(議事を非公開とする)

(協議事項)

- 1 教育委員会委員長の選挙及び同職務代行者の指定について
(議事を非公開とする)

- 2 加古川市文化財審議委員の委嘱について
(教育指導部次長から説明)
原案可決

委 員 : 今回、3名の委員が新任となっているが、例年と比較するとどのような状況か。

事 務 局 : 前回の委嘱時は2名の委員が新任であった。当該委員は高度な専門的知識が求められる職であり、候補者の確保が難しい状況でもあるため、同一人物に対する委嘱が長期化する傾向にある。

委 員 : 教育委員会では様々な委員の委嘱を取り扱っているが、資料として添付されている名簿の記載項目に統一感が無いように感じる。例えば、詳細な住所は項目として不要であるように思うし、選出区分や担当分野などの属性項目はあった方が効果的な議論につながると思う。今後、事務局において名簿を作成する際には、記載項目の精査をお願いしたい。

委 員 : 今回のように、委員の任期満了に伴う案件を取り扱う際には、当該任期中の成果や実績に加え、次期任期における活動目標等をまとめた資料の添付をお願いしたい。そのような資料があればより活性化した議論を行うことができると思う。

委 員 : 条例において、文化財審議委員会は「文化財の保存及び活用について審議する」と規定されている。当該委員会が開催されるに当たっては、文化財の保存に関する議論に留まらず、市民がより文化財に親しむことができるような活用方法の検討が行われるよう、事務局から働きかけてもらいたい。

- 次期定例教育委員会予定日のこと
11月10日（木）午後2時から開催することに決定

- 教育委員諸報告

〔吉田委員長から〕

- (1) 教育委員諸報告のあり方について

- 教育委員諸報告の場では、諸会議への出席報告といった連絡事項だけに留まらず、新聞やテレビ、地域活動、教育現場等を通じて何か気付かれたことや感じたこと、またこれからの教育行政の取組に対する要望等について、各委員に積極的に発言してもらえればと思う。

- (2) 中学校の運動会における組み体操について

- 組み体操に関しては様々な捉え方がある中で、どの学校においても体育教諭を中心に一丸となり、従来のやり方をより慎重に進める方針で取り組むなど、諸問題を真摯に受け止めた上でプログラムに組み込む努力をしたことは評価できる。組み体操の取扱いは多くの方から注目されているため、教育委員会としてこの度の判断に至った経緯をまとめ、ホームページ等で広く情報提供してもらいたい。

- (3) 教育行政のPRについて

- 「学力・学習状況調査結果」等、マスメディアに取り上げられている事項については市民の関心が高いと思われるので、それぞれの案件に関する教育委員会の考え方等を含め、速やかにホームページ等で周知を図ってもらいたい。

〔廣岡委員から〕

- (1) 播磨東地区読書フォーラムの開催について

- 平成28年10月30日（日）に加古川総合文化センターにて開催される。当日は中学生や高校生が5分間で愛読書を紹介する「ビブリオバトル甲子園」も開催されるので興味がある方は参加してもらいたい。

○ 教育長諸報告

(1) 平成 28 年第 4 回市議会（定例会）における代表質問について

9月8日に代表質問があり、教育委員会関係では、木谷万里議員から、大項目「障害のある人もない人も共に安心して暮らせるまちづくりについて」のうち「全てのこどもの教育保障について」、相良大悟議員から、大項目「心豊かに暮らせるまちづくりについて」のうち「学校教育への将棋導入事業について」の質問があった。

それぞれの質問の趣旨と答弁の要旨を簡単に説明する。

(2) 平成 28 年第 4 回市議会（定例会）における一般質問について

9月8日、9日に一般質問があり、教育委員会関係では、松本裕之議員から、大項目「児童クラブについて」のうち「児童クラブ運営及びスタッフについて」、「児童クラブ施設について」、稲次誠議員から、大項目「母なる川『加古川』に対する愛着について」のうち「幼少の頃から加古川に接する機会をつくることについて」、「市民、子どもたちのレガッタに対する認知度および体験について」、落合誠議員から、大項目「人と動物が調和し、愛がある共生する社会の実現について」のうち「学校園での動物飼育の考え方について」、桃井祥子議員から、大項目「食品ロス削減に向けての本市の取り組みについて」のうち「学校給食から発生する食品ロス削減への取り組みについて」、「学校園での参加型食育・環境教育のさらなる充実と継続について」、西村雅文議員から大項目「『教科書謝礼問題』における公正取引委員会の調査結果について」のうち「本市の小中学校における採択教科書の科目別の出版会社名について」、「本市の小中学校における採択教科書の出版会社の内、今回『警告処分』を受けた出版会社名について」、「不当な営業活動を行っていた出版会社の教科書を、本市の子供達に使い続けさせることについて」、「調査員、地区採択協議会委員および教育委員会委員の方々への対応について」、「不当な営業が長期に亘り、慣習化していた事について」、「採択の公平性の確保（再発防止）について」の質問があった。

それぞれの質問の趣旨と答弁の要旨を簡単に説明する。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 平成 28 年第 4 回市議会（定例会）における人事案件について

平成 28 年第 4 回市議会（定例会）において、坂元委員が教育委員として再任されること及び田淵教育長が新教育長として任命されることについての同意がなされた。

以上、1 件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果の速報について

4月19日(火)に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、9月29日に発表された。

委員：国語、算数、数学において、それぞれ「A」と「B」という区分があるが、違いを説明してもらいたい。

事務局：A問題は基礎的な知識を問うものであり、B問題はそれらの基礎的知識の活用力を問うものである。

委員：問題の作成に当たっては、平均点の目安を設定するなど、例年同じようなレベルになるような配慮がなされているのか。

委員：国の方ではある程度配慮していると聞いている。前回より結果が良かったことについては、これまでの取組の成果として捉えているとのことである。

委員：数学Bの「図形」では、本市正答率が29パーセントとなっているが、これは「例年に比べ問題が難しかった」と受けとめたら良いのか。

事務局：本市の生徒は「図形」問題が苦手であったという理解になる。

委員：「苦手」という一言で整理してはいけないと思う。これまで事務局からは、「調査結果については事務局で分析した上で各学校へフィードバックし、必要な対策を講じている。」との報告を受けてきた経緯があるが、それが実践されてきたのであればもっと良い結果になっていたのではないか。そのような認識が現場の先生方まで浸透していなかったのではないか。

事務局：先生方も努力していただいているが、結果が伴っていないのが現実である。

委員：平均点が50点を下回るような問題は、問題として適切であると言えるのか。

委員：理系に進む生徒の割合が少ないこともあり、数学の点数は低いという傾向が一般的に認知されてしまっている。

委員：その認知が教育現場の「あきらめ」につながっているのではないか。全国との相対的な比較というよりも、「正答率29パーセント」という加古川市の絶対値に目を向ける必要があるのではないか。

- 委員：かつては正答率ではなく偏差値で結果を示していたが、偏差値の弊害に目が向けられる中で正答率での表記に移行していった経緯がある。
- 委員：正答率の表記に移行したことにより、苦手分野がより明確に浮き彫りになったとも言える。そのような状況の中、事務局と教育現場が連携して苦手分野の克服に向けた努力や取組を重ねることが求められており、結果として改善が図られるべきである。
- 委員：大学の方でも理数科に強い教員を育成するプログラムを実践し、小学校に送り出しているが、そのような教員はやはり現場からのニーズが高い。現場でも理数科に強い教員を招くことで子どもたちの学力を向上させようと試みているようである。
- 委員：一方で、本日の新聞には「点数重視で教員に重圧」や「学力の低い地域や学校を敬遠する動き」といった記事が見られるが、本市の状況はどうか。
- 事務局：本市においては、一般の教員や保護者は学校別の結果を知りえないため、そのような状況にはならないものと認識している。
- 委員：結果をみる限り、全体的に基礎知識は身につけているが、活用力が望ましい水準に達していないように見受けられる。
- 事務局：例えば、国語のB問題では、「この文章を○文字以内で要約せよ」といった記述式の問題が出題されているが、そのような問題に強い苦手意識を持っている子どもたちもいる。そのため、そのような問題を克服できるような授業を行う必要があるが、なかなか現実の授業に連動させていくことができていない状況である。
- 委員：活用力を身に付けるための授業の一環として、アクティブ・ラーニングが挙げられると思うが、現場の先生方は意識しておられるのか。
- 事務局：近年、その意識は高まっており、本市ではアクティブ・ラーニングに類似する「共同的探究学習」を取り入れている。「共同的探究学習」とは、東京大学大学院の藤村教授が研究を進めている学習手法であり、主体的に共同で課題を解決していくスタイルの授業につながるものである。ただ、課題の設定のしかたが活用力の育成に大きな影響を及ぼすため、最終的には教員の技術・力量が求められる。いずれにせよ活用力の育成は、事務局と教育現場が連携して取り組んでいくべき課題であるという認識は持っている。

委員： A問題は、知識を問う基礎問題であるため、100点を目指すべきものであると思う。一方、B問題は、活用力が問われる問題であるため、個人の能力の差が顕著に表れ、結果的に平均点がA問題より低くなることは当然だと考える。A問題とB問題の平均点を同一水準に設定することは、区分を分けている趣旨からすると適切ではないと思う。

国際的な学力調査においても、ユネスコの知識型調査では日本は常にトップを走ってきた一方で、B問題と同様に活用力を問われるPISA調査ではそのような水準に達していない。ただ、これから求められるのはPISA型の力であるということで、文部科学省もアクティブ・ラーニングの推進など、活用力の育成に力を注ぎだしている状況である。

委員： 以前は、先生が授業で板書をする中で、子どもたちに「次に何を書くと思う？」と尋ね、子どもたちがそれに反応するという光景が良く見受けられたが、これは一種のアクティブ・ラーニングだと思う。これまでの授業内容から次に書く内容を予測し、想像力を働かせて考えることを促すことは、活用力の育成につながっていたと思う。近年は、小学生でもそのような光景が減り、中学生では皆無であるように感じる。受け身の子どもたちが増えるような授業では、活用力は育まれないように思う。

事務局： 11月15日に浜の宮中学校において、「課題の発見と解決に向けて主体的・共同的に学ぶアクティブ・ラーニングの意義と授業実践」をテーマに中学校教育理科研究会が開催される。ご都合が合えば委員の皆様にもご参加いただきたいと考えている。

(2) トライやる・ウィーク（後期）の実施について

期間：11月7日（月）から11日（金）まで

実施校：氷丘中、山手中、平岡南中、別府中、加古川養護学校（計5校）

(3) オープンスクールの実施について

11月の兵庫教育推進月間に合わせて、各校園においてオープンスクールが開催される。当日は自由に授業等の参観ができる。

(4) 平成28年度加古川市少年善行賞表彰について

青少年の健全育成に資するため、他の範となる善行を行った本市の児童生徒に加古川市少年善行賞を授与する。

日時：11月7日（月）15時30分から

場所：加古川市人権文化センター

- (5) 第 29 回全日本マーチングコンテストについて
9月22日(木)、関西マーチングコンテストが大阪舞洲アリーナで開催され、平岡中学校が見事、金賞を受賞し、関西代表として全国大会への出場を決めた。
全国大会は11月20日(日)に、大阪城ホールで開催される。
- (6) 東播磨地区中学校新人体育大会について
9月30日(金)、1日(土)(野球は2日まで)に開催される。
- (7) 幼稚園・こども園教育発表会について
10月20日(木)、別府町幼稚園において開催される。
- (8) 第4回市民スポーツカーニバル、第38回加古川市小学校陸上記録大会について
11月3日(木、祝)、加古川市民スポーツカーニバルが市立総合体育館と加古川運動公園陸上競技場を会場にして行われ、今年も第38回加古川市小学校陸上記録大会が同時開催される。
- (9) 議会事務事業評価の結果について
議会の事務事業評価が9月13日(火)に開催され、「少年補導・相談事業」の判定は「現状維持」であった。10月2日(日)には、公開事業評価で「読書啓発事業」が取り上げられる。
- (10) 平成28年度 加古川市教職員研修会の事後アンケート集計結果について
8月に開催された全市研修会のアンケート結果がまとまった。
- (11) ふれあいハッピーフェスタについて
11月26日(土)、13時30分から加古川市民会館中ホールで開催される。
- (12) 平成28年度 ケータイ・スマホ等の利用に関するアンケート調査結果について
7月に実施したケータイ・スマホ等の利用に関するアンケート調査の結果がまとまった。

以上、12件について報告

○ 閉 会 午後4時40分